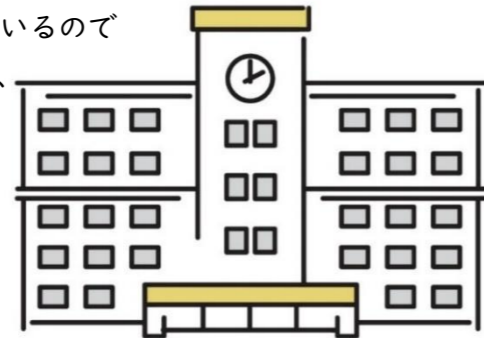


県P連が行くコミュニティ・スクールについて

松本 長崎県ではCSが全国で下から3番目に広がっていない地域です。それは類似型の学校支援会議があるからと言われてます。CSは長崎県が取り組んでいた学校支援会議がモデルになって始まったと聞いています。だから長崎県をモデルにしているのなら、今まで通り類似型でいいのではないかといいことで変わらないところが多かったのではないかと思います。本来文科省が求めているCSは長崎モデルをブラッシュアップしていいものを取り入れようとしています。逆に長崎県が取り組んでいる類似型のものが遅れを生じさせているのではないかと思います。私はいろんなところで話を聞いたときに、今の学校支援会議よりもCSの方が子供たちの教育環境が充実するし、将来の子供たちにとってはいい経験ができると感じています。文科省が求めているCSになっているのか、CSのメリット、進んでいかない原因などを知りたいので、県内でCSが一番進んでいる壱岐市の現状をお聞かせください。

横山 中学校区3校で始めようとしたのですが、1つの小学校は以前から学校運営協議会を行っているのこのままでということになり、小・中学校2校で連携して行っています。おっしゃる通り学校支援会議の延長といったところがあり、地域でも同じ方が参加されて忙しいので、現状あまり広げないような活動にする。それで小・中学校での活動を共有しながら子供を育てていきたいと思います。小学校、中学校それぞれで活動をして会議だけ一緒にしています。



松本 活動をしていく中でメリット、デメリットはありますか。

横山 小学校の行事も知れて、保護者との関わりも報告し合えるので、中学校での活動はどうあるべきかを考えながら行える部分があります。

石橋 本校はCSになって7年目になります。かなり充実していると思います。今年度、学校創立150周年を迎えました。これも学校運営協議会と地域に働きかけて、全て地域主催で取り組

んでもらっています。メリットとしては、地域学校協働活動をいくつも進めており、地域主体のいろんな取組があり、地域の大人の姿を見ながら子供たちが学ぶことができています。本校では、メリットしかないと感じています。



松本 なぜ上手くいっているのですか。

石橋 歴代の校長先生方や役員さん方のおかげということもあるのですが、組織体の見直しをして機動力のある組織体に変えたということが一つ。もう一つは地域コーディネーターの方が優れていることです。先日行われた全国学校保健安全研究大会で参加された方と話す機会があり「地域の方とのつながりが難しく、地域の核となる方を探すのが大変です」といった話がありました。その中で「地域のやりたがり屋さんを探さない」という話があったのですが、やりたがり屋さんでとどまっていたはダメだと私は考えています。そこから更に適材な人を見つけていかないと充実した活動はできないというのをすごく感じます。

松本 保護者目線から見てCSはどうですか。

佐藤 私の地域の学校運営協議会では地域の方の発言力や行動力があり実行に移すのが早く地域で協力できているので大変いいことだと思います。

松本 壱岐市全体ではどうですか。

渡野 どこも地域の方と一緒に協力して行っていると思います。私の地域は県で最初に学校運営協会を設置したと聞いています。地域、学校、PTAを位置付ける組織図があって、PTA総会のときに1年間の活動内容の説明や、子供たちへの参加のお願いなどをします。特に地域のお年寄りの方が子供と接することを喜んでいる方が多いので、もっと活性化させて広げてもらいたいと思っています。

松本 壱岐市では前向きなご意見がたくさんあって成功している市だと思います。長崎県で見たとき広がらない原因の一つは、石

橋先生がいわれた地域コーディネーターが不足していて誰に任せたらいいのかわからない。だからコーディネーターの育成をしっかりと必要があると思っています。もう一つは先生方の働き方改革です。CSを取り入れるのと同時に先生方の働き方改革が必ず進むといった好循環、スパイラルを生むようなCSの運営をして欲しいと県教育庁にお願いしています。CSの必要性をしっかりと考えて広まるように伝えていかなくてはいけないと思っています。

石橋 今は学校だけで子供たちの教育ができる時代ではないと思います。教員以外の人たちから学ぶことが正に身近な生きた教材になると思います。地域でいろんな活動をされ、活躍されている方の姿を身近で見ることによって自分の将来や人生の具体像を描きやすくなると思います。そういう意味で教員以外との関りを増やす場を創り出すためにもCSが必要なのかと思います。

松本 私も全く同感です。開かれた学校作りをして欲しいとの思いが文科省の中にあるみたいです。学校だけで子供を立派に育てる時代ではなく地域の方などの意見をどんどん子供たちに教えてあげないと、今の時代は正解のない課題を問



い続ける力を身に付けさせなければいけない。私たち親でさえ分からない時代を子供たちは生きていかなければならない。だから開かれた学校を作って、いろんな人たちに来てもらって、いろんな人と子供たちが接して人生の選択肢を増やし自分で考え選択していく力を培って欲しいと思います。

本文 CSとはコミュニティ・スクールの略